



今月の題字
なな み
佐々木 七 海 ちゃん
(織笠小2年)

田町のわだい

船越の佐々木タキ子さん 本町3人目の「食の匠」に認定

「岩手県食の匠」に、船越の佐々木タキ子さん（61）と佐々木さん製作の「ミルクわかめようかん」が認定されました。岩手ならではの食材や食文化の発信活動を通じた地域の活性化を目的に県が実施しているもので、本町では3人目となります。今回認定されたミルクわかめようかんは、2月に行われた「うんめーごっつおー試食審査会」で一般の部グランプリを受賞した作品。佐々木さんは「まさかのことにびっくりしています。料理を工夫するのが好きなので、これからも新しい料理の考案を続けていきたい」と話していました。



軽やかな音色に合わせ舞を演じる八幡大神楽



国道で勇壮に舞い踊る山田境田虎舞



お祭り広場内を所狭しと暴れる山田八幡宮の神輿

山田八幡宮・大杉神社神幸祭 町中が熱く燃えた2日間

山田八幡宮と大杉神社の神幸祭が9月14日と15日に行われ、町中が笛や太鼓の軽快な音色に包まれました。毎年恒例となったJR陸中山田駅前の「お祭り広場」では、神輿の渡御や町内外の郷土芸能が披露され、大勢の家族連れなどでにぎわいました。また、14日には山田八幡宮の金色の神輿が町内を駆け回り、沿道の観衆を魅了。15日の大杉神社の神幸祭では、北浜町の船揚げ場で神輿が海中を練り歩く「お塩垢離」が行われ、陸と海を何度も往復しては詰め掛けた観客を沸かせるなど、2日間にわたる熱い祭に町中が燃えていました。



カナガラを振り上げ、華麗な舞を披露する八幡鹿舞

轟木地区でグランドゴルフ大会 世代を超えた交流を深める

9月21日、轟木地区教育振興運動実践協議会「わらびの会」が主催するグランドゴルフ大会が開かれました。これは、同会創立10周年の記念事業として轟木小学校を会場に行われたもので、会員ら100人が参加。参加者は4～5人のグループに分かれ、学校敷地周辺につくられたコースに挑戦し、スコアを競い合いました。グランドゴルフはクラブでボールを打ち、ホールポストに入るまでの打数を競う競技で、大人から子供まで手軽に楽しむことができます。コースの途中に置かれた木の枝やハードルなどにさえぎられ、苦戦する参加者の皆さん。競技を楽しみながら、世代を超えた交流を深めていました。



理容組合でボランティア活動 海岸のごみ拾いで地域へ貢献

9月8日、理容生活衛生同業組合山田支部（白野健一支部長）では、浦の浜海岸の清掃活動を行いました。これは、全国理容連合会が毎年9月の第2月曜日を「理容ボランティアの日」と定めたことによるもので、全国一斉の取り組みとなります。当日は組合員15人が浦の浜海岸に集合。海岸に落ちている空き缶や空きびんなどを拾い集め、奉仕活動に汗を流しました。事業を計画した上野郁宏青年部長は「今後は清掃活動だけでなく、さまざまな形で地域に貢献できる活動を計画していきたい」とさらなる活動の展開に意欲をみせていました。

町総合防災訓練に2,195人 災害に備え各団体が協力し合う

9月7日に町総合防災訓練が行われ、2,195人が参加しました。町民の皆さんを対象とする津波避難訓練では、町全体で1,474人が高台などへ避難したほか、上豊間根自治会と石峠自治会による非常食糧炊き出し訓練が行われました。同訓練終了後は織笠川河川敷公園に会場を移し、町消防団と航空自衛隊による水防訓練や負傷者救助訓練などを実施。また、織笠婦人防火クラブと飯岡地区住民自治会が初期消火訓練を実施したほか、山田中地区自主防災会や山田地区建設業会も町消防団と合同で各種訓練に参加するなど、万が一の災害に備えた訓練に各団体が協力し合いながら取り組んでいました。



山田中地区自主防災会による応急手当訓練の様子（上写真）／高台へ避難する境田地区の皆さん